

仙台ーバンコク便の再開に向けてタイに相互交流の促進を要請します ～副市長がバンコクを訪問～

仙台市では、タイ国際航空の仙台ーバンコク便の再開とさらなる誘客推進に向けて、仙台空港国際化利用促進協議会と連携し、タイで仙台・東北観光セミナーを開催します。あわせて、タイ旅行業協会とインセンティブツアー等誘致に関する協力協定を締結します。

今回は、伊藤副市長がバンコクを訪問し、協定締結のほか、タイ国際航空本社およびタイ政府観光庁などで、相互交流のさらなる促進と定期便再開に向けた要請等を行います。

1 訪問期間 10月28日(水)～31日(土)

2 訪問地 タイ王国バンコク都

3 参加者

(1) 仙台市 伊藤副市長(仙台空港国際化利用促進協議会 副会長)

(2) 仙台空港国際化利用促進協議会 宮城県土木部次長、仙台商工会議所事務局次長

(3) 観光関係者

東北観光推進機構本部長代理、仙台観光国際協会理事長、仙台ホテル総支配人協議会会長、秋保温泉旅館組合組合長 ほか

4 主な日程

10月28日(水)朝 仙台空港発・バンコク着(成田経由)

29日(木) 10:00 タイ政府観光庁(TAT)訪問

15:00 TTAA(タイ旅行業協会)月例定例会

17:00 仙台・東北観光セミナー

(終了後) インセンティブツアー※(企業報奨旅行・視察旅行)に関する相互協力協定の締結式

18:00 TTAA懇親夕食会

30日(金) 8:30 タイ国際航空本社 表敬訪問

31日(土)朝 バンコク発・仙台空港着(成田経由)

5 実施内容

(1) タイ旅行業協会定例会、仙台・東北観光セミナー

タイ旅行業協会の月例定例会に参加し、現地の旅行業関係者とのネットワーク構築を進めます。また、定例会終了後にセミナーを開催し、仙台・東北の観光の魅力を伊藤副市長からPRし、インセンティブツアーを中心とした誘客を図ります。

(2) 「インセンティブツアー等の促進に関する相互連携・協力協定」締結式

タイ国旅行業協会、仙台市、東北観光推進機構、仙台観光国際協会の4者で協定を締結します。今後、協定に基づき、各主体が行うインセンティブツアー等の促進事業について相互に支援します。

【協定内容】

- ・各当事者が主催する視察旅行やインセンティブツアー促進に向けた活動について相互に支援を行うこと
- ・旅行者など個別機関への情報提供について相互に支援を行うこと
- ・連携・協力の効果が上がるよう、それぞれ連絡調整に努めるとともに、継続的に意見交換を行うこと

(3) タイ国際航空・タイ政府観光庁への表敬訪問

①タイ国際航空

チャラムポン・ジョティカサティアン社長に対し、仙台市とタイとの交流促進の取り組みについて説明し、運航休止中の仙台ーバンコク便の早期再開を要請します。

②タイ政府観光庁

仙台市は、タイ政府観光庁と平成18年に「観光に関する相互協力協定」を締結し、平成24年にはさらに東北観光推進機構を協定の主体に加え、協力の範囲を東北全域に広げています。今回は、スリスダ・ワナピニョサック副総裁と、さらなる相互交流の促進について意見交換を行います。

※インセンティブツアー

企業の社員等を対象に、成績が秀でた社員や販売員のモチベーションアップを図る手法として、近年アジア諸国でも行われている企業の報奨旅行。企業の費用負担で大規模なツアーが催行されるため、訪問先での宿泊・飲食業等に高い経済効果が見込まれる。